令和 7 年 6 月 12 日　15：30～16：30
府立阿武野高等学校　校長室

令和 7 年度　第 1 回学校運営協議会　議事録

1. 開会

校長あいさつ
出席者紹介
教頭より会長の紹介
会長のあいさつ

2. 令和 6 年度学校経営計画及び学校評価について（田中校長より）

・新聞記事の活用など、生徒の興味関心をひく工夫が進んだ。
ICT 機器を活用する授業が増え、より深い学びに繋がっている。また、配信型の課題を活用するなど、家庭でも学習しやすい環境を整えることができた。
・オンライン国際交流が実施できなかったが、国際交流が行いやすいアジアやオセアニアのくにとのつながりや開拓が今後必要となる。
・清掃については、生徒と教員の認識が大きく乖離していた。どの目線からでも学校がきれいであると思えるように取り組んでいくことが必要である。
・地域の保育園、支援学校、高齢者施設、障がい者施設等との交流実習は本校が地域とつながりを持てる根幹になっているので、継続的に取り組んでいく。周囲の大人から本校生徒の安心感を感じてもらえることに加え、中学生に本校をアピールする魅力の 1 つになる。
・生徒指導に関して、「指導の納得度」の肯定的評価は 65.5%と厳しい結果となった。カウンセリングマインドを活用しながら、今後、納得度を向上させていく必要がある。
・「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価は 79.1%であった。目標の 80%を目指すには、居場所づくりや学校に来る目的を生徒に実感してもらう必要がある。そのためには、楽しいと思える仕掛けづくりを今後していく必要がある。
・「学校行事満足度」の肯定的評価はやや向上した。
・「先生や保健室・相談室などで、相談することができる。」の肯定的評価はやや向上しているものの、教育相談的取組はより生徒にアピールし、評価を向上させていく必要がある。
・気になる生徒における中高連携は今後もしっかりと取り組み、少しでも生徒の意欲を学校に向けることができるようにしていく。
・生徒・保護者等が学校の予定をホームページ等を活用し、余裕をもって確認できるように努めることができた。
・経験年数の少ない教員、初めて担任する教員に対しての研修を実施し、フォローの体制を整えていく必要がある。

・ICT を活用し、業務内容の「見える化」を推進することで時間外労働を少しでも減少させていくことが今後必要である。

3. 令和 7 年度学校経営計画及び学校評価について（田中校長より）
・スモールステップで、生徒が達成感を感じることができる仕掛けづくりを行い、生徒の自尊感情を高めていく授業づくりを強化していく。
・ICT 端末をより活用し、生徒自ら学ぶ力の育成、家庭環境の習慣化、基礎学力の定着・向上をさらに強化していく。
・「阿武野プロジェクト」（あぶプロ）が中心となり、課題と成果を検討し、全校で共有していく。
・国際交流事業はアジア圏の国とのオンライン交流を開拓していきたい。
・週に 1 回、2 回の清掃を継続的に行い、校内美化を推進していく。
・登校時の校門指導では事故なく、行えるように今後も丁寧に指導していく。
・違いを認め合い多様性を尊重する人権教育とクラスづくりを実践していく。
・「あぶねっと」を引き続き行い、地域のつながりを保っていく。
・防災教育、交通安全教育では学校から離れたところでも、生徒自身がルールを守り、規範意識を高められるように生徒指導中心に指導を強化していく。
・学校行事や生徒会活動では、生徒がより主体的に取り組めるように行っていく。
・教育相談委員会体制においては、様々な分野の垣根を越えた包括的な支援体制づくりを行い、生徒の安心感を高められる環境づくりを強化していく。
・広報活動においては、少しでも生徒の良い顔や笑顔をホームページやインスタグラム等を活用し、発信していき、本校の魅力を発信していく。
・職員会議のペーパーレス化を継続し、教員の負担を減らし、生徒と向き合う時間を確保していく。
・時間外在校時間の縮減においては、年間で 720 時間を越える教員を 0 にしていく。

4. 学校経営計画を踏まえた取り組みの進捗状況について
（1） 教科書選定委員会について（上坂首席より）
・例年通りの流れで、6 月中をめどに各教科中心に会議を行い、選定理由を慎重に協議をし、教科書を選定していく。

（2） 体育大会の取り組みについて（筒井教諭より）
・天候に恵まれ、生徒たちのあつい姿を見ることができた。今年度から全学年を巻き込んだ体育大会を目指し、変更を行った。
○ 変更点
・結団式において、前年度までは応援団のみで行っていたが、今年は全校生徒で行い、一致団結することができた。
・生徒会中心に全校生徒にアンケートを行い、借り人競争を新たに追加した。

・評価項目に競技中の応援を加えて、生徒全員に応援グッズを配布した。その結果、
自分の出番でなくとも、自然と体育大会に参加する雰囲気を作ることができた。
・応援団パフォーマンスにおいて、衣装や旗の点数も総合点に加え、少しでも生徒の
頑張りを評価しようと試みた。
○　補足
・借り人競争の指示の内容では、人権委員会との協議を踏まえて、「○○教科の先生」
のように、教員も体育大会に参加できるように取り組んだ。また、ＰＴＡの方々に玉入
れに参加して頂いたり、スポーツドリンクなどを提供して頂いたりした。

（３） 広報活動について（小磯首席より）
・中学生の意識調査として、本校を受験した理由は学力が適しているが 43%（昨年 50%）、近い、通学しやすいなどの理由が少し増加傾向にある。また、クラブ体験会への参加率は増加傾向にあるが、オープンスクールへの参加率は若干増加傾向ではあるが、ほとんど横ばい状態であった。本校への受験の意志や周辺の学校への興味度も昨年とほとんど変化はなかった、
・本校の部活動加入率は少しずつ増加傾向であり、本校の魅力として、ブログやインスタグラムを通して、今後さらに発信していったり、合同練習やクラブ体験会を積極的に行っていくことで、中学生に魅力を感じてもらいたい。

（４） 校内居場所カフェについて（上坂首席より）
・不登校や中退の割合が増加しており、そういった生徒らが進路の相談や困り感を十分に相談できないまま進路変更をしたり、退学してしまっていることがあり、学校での居場所づくりが必要であると感じた。一般社団法人「later on」の山中さんにも協力いただいて、誰もが話がしやすい空間を校内に作っていきたい。現在、スマイル週間というものを設けて、小さな教室を開放しているが、4〜5 人来ると、いっぱいになってしまい、せっかく来てくれたのに教室に入れない生徒がいるという課題がある。その中で、2 階の AL 教室にという通常の教室より 2 倍ほど広い展開教室を今後、居場所カフェとして整備していきたい。その際に、木目調の床にしたり、観葉植物を置いたりして、誰もが話やすい雰囲気づくりをしていきたい。目処としては、夏休みごろに整備を行い、夏休み明けの 2 学期から何回か開催していく。大阪府教育委員会が募集をしている「子供の居場所づくり支援モデル事業」に応募し、採用されれば上限 70 万円の予算がおりることになり、居場所づくりをより理想の形にしていくことができる。そして、本校が安心して登校できる学校として、校内居場所カフェを魅力として中学生に発信していきたい。

5. 協議・感想など
（１） 学校経営計画の実施状況について
（西村委員）「秋フェス」を 10 月 26 日（日）10：00〜14：00 阿武野小学校で開催予定。
昨年はダンス部、軽音部、ボランティア部が参加。今年度は修学旅行と重なってしまっているので、来年は早めに日程調整して、そういった重なりがないようにしていきたい。

クリーンキャンペーン 10 月 13 日（土）午前中　阿武野中学校・阿武野高等学校にて開催予定。昨年は焼き芋を出品し、大盛況であった。小学校との連携も視野に入れている。SDG s や環境問題において、若年者の意見を積極的に取り入れ、実施していく。

（校長）学校から離れたところから、自転車についての苦情が来るので、そういった目が離れたところでも規律を守る態度を養っていきたい。

（２） 教科書選定委員会について、体育大会の報告について
広報について、居場所づくりカフェについて

（丹家委員）中学校では「自分の足で行き、目で見て確かめる」という指導をしており、実際に、学校へ訪問した生徒は満足していることが多い。そのため、オープンスクールやクラブ体験会などの機会を増やすことは広報として非常に有効であり、中学校としてもありがたい。また、中学生にとって、クラブは高校を選ぶ大きな要因であり、
阿武野高校としてクラブをアピールしていくのはとても効果的である。加えて、
体験授業で高校生の授業を経験することも、中学生にとって良い経験になるので、
無理のない範囲で実施して頂きたい。

校内居場所カフェはどの時間帯に行うのか？

（上坂首席）月 2 回程度で、昼休み及び放課後の時間。スタッフ 2、3 名で教員は同席しないが、情報共有は適宜行っていく。

（妹尾委員）居場所づくりに関連して、少し緩めの部活動があればいいのかなと思う。
他校と比べて、阿武野高校の体育大会のスケジュールは少し緩めであり、それが良かった。地域に特化した部活動などがあれば、より人気が出てくるのではないか。
学食の評判も良い。

（小磯首席）兄弟姉妹の影響や専門コースを魅力に感じてくれる生徒が多い。以前はスポーツコースの生徒は部活動への加入が必須であったが、今はそのルールを撤廃している。福祉コースは島本高校と機能統合をしたことにより、より充実した内容になっている。

（福武委員）3 回目の体育大会であったが、今まで一番充実した内容であった。PTA による水分補給の活動や玉入れに参加したことがその要因であり、これからも継続して行えたらいいと思う。

（藤松委員）大人が参加していく中で、高校生との会話が増えることで、体育大会に一体感が出たように感じた。水分補給が午前中になくなってしまったので、来年度はもう少し増やしたほうがいいのかなという反省が PTA の中であった。

居場所カフェでは机や椅子に座るよりも、床に座れるようにしたほうがいいのではないか。椅子が埋まっていたら、せっかく来ても帰ろうとしてしまうかもしれない。ローテーブルを用意して、そこにみんなで座れたら、利用者が増えていくと思う。

（上坂首席）居場所カフェは様々な人の意見や生徒の様子を見ながら、みんな作っていきたいと考えている。

（小磯首席）イベントなども行えるレイアウトを考えており、様々な良いところが詰まった場所にしていきたい。

（西村委員）アブチキを「秋フェス」で売ってみるのはどうだろうか？
（小磯首席）現在、食堂でアイスを販売することを検討しており、そのルール作りを生徒会中心に行っている。また、阿武高でのキッチンカーのメニューなども業者と交渉している。全校にアンケートをとったりして、生徒中心に取り組んでいる。
（藤松委員）そういったキッチンカーのことも中学生に魅力を感じてもらえるのでは？
（小磯首席）キッチンカーのことも魅力発信していきたい。

６．閉会

次回、令和７年度第２回学校協議会は　11 月 12 日（水）15：00～　開催予定。
14：30 より授業見学。